

足の治療のエキスパート

JR横浜線大口駅から徒歩1分のバス通り沿いに、ちょうど10年前、整形外科医院ができた。「吉野整形外科」というこのクリニックは、外観は一般的な診療所だが、診療内容に大きな特徴がある。

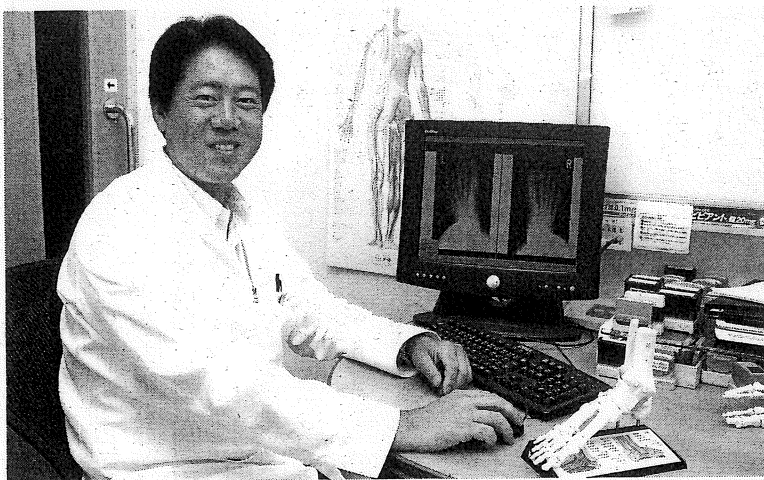
もちろん「整形外科」だから、骨や関節、筋肉などに関する全身の症状に対応している。しかし、ここを訪れる患者の症状として最も多いのが「足のトラブル」だ。

院長の吉野匠医師の専門は、整形外科領域の中でも珍しい「足の外科」。

外反母趾や強剛母趾、扁平足など、「足首から下」の診断と治療を得意とする、国内でも数少ない存在なのだ。

「足には100種類以上の

吉野整形外科 院長 吉野匠さん(48)

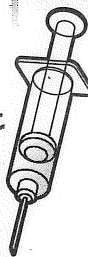


よしの・たくみ 1965年、東京都立川市生まれ。91年、順天堂大学医学部卒業。92年、慶應義塾大学整形外科教室入局。同大学病院のほか、関連病院勤務を経て、98年、慶大整形外科助手。その後、済生会神奈川県病院、済生会横浜市南部病院に勤務し、99年、英国ブリストル大学附属病院で研鑽(けんさん)。2003年、吉野整形外科を開設し院長。日本整形外科学会認定整形外科専門医、スポーツ医、リウマチ医、リハビリ医ほか。医学博士。趣味は車と海釣り。

疾患があるのに、それを専門に診る医師が非常に少ない。

外反母趾のように、足のア

名医はこの人 ブラックジャックを探せ



そのため正確な診断や治療を受けることができず、苦痛を強いられた生活を送っている人が少なくありません」

そう語る吉野医師の外来には、全国どこか海外からも患者がやって来る。

患者は日本全国、海外からも

「足の症状は、家族や周囲、時に医師にも理解されないことがあるので、患者の悩みは深刻です。まずは、足にも専門医がいる—ということを知ってほしい」と訴える吉野医師。

その貴重な存在に救われる人は、少なくない。(長田昭二)

症状によつては外科的手術となる場合がある。市内の連携する病院に患者を紹介することになるが、手術は吉野医師自身が向いて執刀する。

つまり、診断から治療、手術まで、足の専門医である吉野医師が責任を持って診られるシステムが構築されているのだ。

イチ(土踏まず)の潰れからくる症状には、インソールを使って矯正していく。足の形状に即した微妙な採型(さいけい)の違いで、治療効果は大きく左右されるという。まさにここが専門医のウデの見せどころだ。

H) 誰なんだ? 毎日、1時間か2時間おきに、無言電話のベ

●殺人事件 子供の頃、近所で殺人事件が2件続いていた

や、生野菜を食べないよう

ました。しかし、一瞬のこと

イラスト・浜本ひろし

回転ドアにゾクッ!

煮干しを食べよ
更年期障害が始まる

当院、院長が 2013年8月23日「タカフジ」文化面

に掲載されました。